

抗インフルエンザ薬と授乳の関係について

抗インフルエンザ薬を使用した際、授乳に不安を感じるお母さんもいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は抗インフルエンザ薬と授乳の関係について紹介します。

★抗インフルエンザ薬★

内服薬

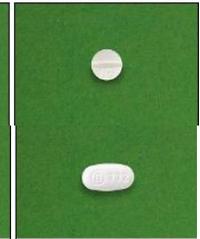
タミフル（成分名：オセルタミビル）
ゾフルーザ（成分名：バロキサビル）

吸入薬

イナビル（成分名：ラニナミビル）
リレンザ（成分名：ザナミビル）

注射薬

ラピアクタ（成分名：ペラミビル）



抗インフルエンザ薬を使用することで、熱の出る期間を短縮できる可能性があります。
タミフルは母乳移行量を調べて、非常に少なかったと報告されています。そのため、母乳を通して赤ちゃんに影響が出る可能性はほとんどありません。

イナビル、**リレンザ**、**ラピアクタ**の母乳を介した赤ちゃんへの薬剤暴露は現時点で認められておらず、母乳育児との両立は問題ないとされています。

イナビルと**リレンザ**は吸入で使われ、お母さんの血液の中へほとんど入らないとされているので、母乳移行もほとんどありません。

ゾフルーザは2018年3月に発売された新しい薬であり、ヒト母乳中への移行に関するデータはまだありません。

また、母乳を介して赤ちゃんがインフルエンザに感染することはありませんので、お母さんがインフルエンザにかかっても授乳をやめる必要はありません。

判断に迷いましたら、是非、医師・薬剤師に相談ください！



育児サークル「のびのび広場」

日時：第3水曜日
AM10時30分～11時30分
場所：磐井病院 2階多目的会議室
対象者：お母さんと赤ちゃん（1歳未満）
自由参加・予約不要・無料
参加をお待ちしております！



お問い合わせ

院内の妊婦の皆様、当院での妊婦健診を受けられている方もいない方も、是非おっぱいについて話しましょう！
わからないこと、聞きたいことは是非ご相談を！

母乳育児推進委員



参考資料：母乳とくすりハンドブック 大分県薬剤師会
「妊娠・授乳と薬」愛知県薬剤師会
国立成育医療研究センターHP 授乳中のお薬Q&A
シオノギ製薬HP ゾフルーザのよくある問い合わせ



今回は薬剤科からでした

